

目次

- 修士論文発表会 33
- 平成13年度歯学科合宿研修を終えて 34
- 平成14年度学生関係行事日程 36
- 日本育英会等の奨学金について 37
- 学生生活を終えるにあたって 38
- 京都旅行に参加して 41
- 留学生センターだより 42
- サークル活動等紹介
(クリスマスコンサート) 43
- サークル紹介 45

修士論文発表会

保健衛生学研究科博士（前期）課程の修士論文発表会が1月23日（水）午後1時から1号館9階特別講堂で開催されました。

この発表会は大学院生が行った研究を論文としてまとめる過程を通して学会発表や学術論文として公表する能力を習得することを目的に平成7年から一般公開の形で行われているもので、今年で8回目となります。当日は大学院生や教官が多数詰めかけたなかで総合保健看護学専攻14名、生体検査科学専攻12名がプロジェクターを使い発表の後、活発な質疑応答が行われました。

発表論文はいずれもレベルが高く、大学院生の今後の研究に対する姿勢、取り組み等に多に資するものがありました。



平成13年度歯学科合宿研修を終えて

千葉県厚生年金休暇センター（千葉市にて）

男子代表 歯学科5年
かさ ま ひろ たか
 風 間 裕 貴

昨年10月、歯学部5年生は臨床科目総合試験であるバリアー試験を終え、「やっとこれで患者さんを治療できるぞ」という、臨床実習デビューを直前にし歯学部生として改めて実感を噛み締めると同時に、「マネキンの口の中から、さて次は、本番。はたして患者さんの口の中で治療がすぐに、上手にできるの？」という不安感と、そして大学院大学となり魅力的な数多くの講座の中から自分の心を躍動させる講座はどこであるのか等々、自分をステップアップさせる情報を得たいと思い立った時、歯科医師として、また人生の先輩である教授を始めとする先生方にこの思いを打ち明ける機会が、昨年11月19、20日に行われた合宿研修会でありました。

研修会場に到着し昼食を済ませ、睡魔の囁きがするころ先生方の講演が始まりましたが、医事紛争・歯科医師過剰時代という、これから歯科医師になる私たち学生にとって厳しい21世紀の将来像に聞き入り、そして大山病院長から歯科医師の心構えとして「論語」より孔子のお言葉を読み上げられ、我々学生の緊張感は頂点に達しました。その中でも特に印象深い言葉として「己の欲せざる所を人に施すこと勿かれ」、言い換えれば「自分がして欲しいことを施しなさい」という、人間として単純かつ基本的な道徳ではあるが、いざ実行するのは難しい教えでありま



す。20世紀の医療はとかく疾患のみに気を取られ、患者さんの気持ちを無視した医療が行われてきたことを反省し、患者さんが本当に欲する医療、そして全人的医療を21世紀は提供していかなくてはならないと自分は解釈し、心に刻み込みました。他にも、本学歯学部OBの先生方から臨床の現場におけるインプラント治療について、外務省の歯科医療事情について興味深いお話をいただき、卒後進路の選択肢はたくさんあり、また卒業生は多方面で活躍なさっていることを大変誇りに思いました。

夕食時は、学生10名程に対し、先生方7～8名が各グループに分かれ同じテーブルを囲んで食事を取り、私も教壇の上で弁を取られている先生方を眼前にし、少々緊張気味で食事が喉を通過しづらかったのですが、教授が学生にご飯やお刺身をお皿に盛ってくださったりする姿に、教授たるプロフェッショナルは勉強だけでなく人間性にも大きな器を持った方であると大変感銘を受けました。

夕食後も引き続き先ほどのメンバーでグループ別集會が行われ、お酒も入って学生・先生方のテンションは高まってまいりました。話題は、現在の研究を始めるに至った経緯・臨床現場での出来事から、恋話・先生方の学生時代の話・ご家族のお話などなど、仕事からプライベートに至るまで人生の先輩としてたくさんの貴重な体験談・教養を、学生・先生という垣根を越えてホンネで語り合うことができ有意義な時間を

共有できたことは一生の思い出です。そして先生という職業はお話をするのが大好きで、常に学生に自分の思いを伝えたいという情熱に私は圧倒され、学生が話すというよりもやはり先生が話す時間が多かったようにも感じられましたが…。でも、

我々学生の鋭いツッコミにも快くお答えしていただき、患者さんを治療するにあたってのヒントもゲットすることができ、また学生の中には、夜更けまで先生のお部屋で語り明かす人もいて、学生と先生との距離はますます狭まったのではないのでしょうか。

そしてもう一つ、今回の合宿研修会は学生・先生との親睦を深めるだけでなく、学生同士の親睦を深めるチャンスでもありました。おそらく、学生全員が一堂に会して宿泊をするのは、入学直後のオリエンテーションとこの合宿研修会の2回のみ。高校生時代の修学旅行気分で、夜更けまで友人の部屋を次から次へと訪問したり、ちょうどこの時期は流星群が見える日だったので夜中白い息を吐く寒中でみんなで星を眺めたり、クラス委員の自分としてはクラスの一体感を高める意味でも有意義なものとなったことを嬉しく思います。

2日目の閉会式時、江藤歯学部長から学生に対し、今後の人生はとかく忙しく時間に振り回されるものとなるが、そういった中でも自分で自分の時間をコントロールして、二度と戻ることにはない時間を大切に1日1日を一生懸命生きていきなさいというお言葉をいただき、今までの自分の生き方を反省すると共にこれから我々学生が進んでいく21世紀の歯科医療、そして母校の更なる発展に少しでも貢献できたらと思いました。

こうして今回の合宿研修会を客観的かつ主観的に書かせていただきましたが、最後にお忙しいスケジュールの中、私たち学生のためにお集まりいただいた先生方、このような機会を提供してくださった職員の方々、そして最後まで拙い私の文章を読んでくださった読者の方に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

女子代表 歯学科5年

仲村美穂

気が付けば早いもので、もうすぐ臨床実習に入ろうとしております。その節目として11月19日から1泊2日で千葉県の厚生年金休暇センターにて、歯学部5年学生と歯学部教官が参加し行われました。

研修は、私たちの先輩である先生方の講演、学生と先生方とのグループ集会の2部で構成されます。講演は、歯科医師過剰の現実、将来の進路、東京医科歯科大学病院の変化などで、私たちにとっては厳しい現実を目の当たりにするものでした。この時期は5年生がちょうど教室での講義、実習が終わり、今後の進路について考えをめぐらせている時期でもあります。教室だけにいると、実際に歯科を取り巻く環境は見えないものです。自分たちの置かれている状況がどのようなもので、それに対して何が求められているかということを考えさせられます。確かに、これからは歯科医師の未来は、「暗い」といわれています。しかし、みんなが「暗さ」で下を向いているときに、自分の道をしっかりと見極め、上を向いて努力すれば、逆に「明るい」のではないのでしょうか。ただ、その時に、きちんと現実を把握しなければならないと思います。その意味でも、今回の研修は普段聞くことのできない貴重なお話を伺うことができました。そして、立派に活躍されているOBの先生方を見て、自信にもなりました。

その後、おいしい夕食を頂き、グループに分かれて集会が行われました。お酒も入り、日常ではあまり接することのない先生方と交流でき、講義では知ることのできなかつた世界が見られ、非常に楽しい時間を過ごさせていただきました。また、5年間同じクラスで過ごした仲間と一緒に、よい思い出ができました。同じように悩み、努力している仲間と、それを乗り越えてきた先生方と、同じ時間を持ち、心強く思われます。いつか、1人で頑張っていかなければならない時に、

困難にぶつかってもこういった仲間がいれば助け合えると思いました。

今回の研修では、今までの学生という、いわば甘い環境から1歩前進して考えさせられるものでありました。社会の中で、私たちの役割は沢山あります。自分たちが今まで勉強させてい

ただいたものを、お返しする方法を各自見つけていかねばなりません。そのためにこれからも努力を続ける決意を新たにしました。

最後になりますが、このような機会を私たちのために与えてくださった、教官の方々、教務、学生課の方々に心から感謝いたします。

平成14年度学生関係行事日程

行事名	日程等	備考
入学式	4月8日(月)	
新入生校外オリエンテーション	4月11日(木)~12日(金)1泊2日 千葉県安房郡天津小湊町「小湊ホテル三日月」	
学内レガッタ	4月下旬を予定 戸田オリンピックコース	教養部ガイダンス
体育祭	5月11日(木) 国府台地区	2年 4月10日(水) 1年 4月10日(水)
新入生健康診断 新入生健康調査	湯島地区 4月9日(火) " "	学部ガイダンス
定期健康診断	国府台地区 4月23日(火) 湯島地区 ①5月8日(水)~10日(金) ②5月14日(火)~16日(木)	医学部(保) 4月5日(金) (編入生を含む) (医) 12月20日(金)
文化祭 (お茶の水祭)	10月19日(土)~20日(日) 湯島地区	歯学部 平成15年1月6日(月) 医学科6年対象大学院入学説明会 7月8日(月) 歯学科6年対象大学院入学説明会及び臨床研修医説明会 7月8日(月) 実験動物慰霊祭 9月27日(金)
医学部医学科 合宿研修	9月7日(土)~8日(日)1泊2日 千葉厚生年金休暇センター	創立記念日 10月12日(土)
歯学部歯学科 合宿研修	11月19日(火)~20日(水)1泊2日 千葉厚生年金休暇センター	解剖体慰霊式 10月23日(水)
卒業式	平成15年3月25日(火)	

日本育英会等の奨学金について

学業・人物ともに優秀でありながら、経済的理由により修学困難な者に対して、日本育英会をはじめとして各種の奨学金制度があります。なお、日本育英会・地方公共団体・財団等の奨学生募集内容については、厚生課・教養部の掲示板にそのつど案内を掲示します。

日本育英会第一種奨学金ときぼう21プラン奨学金の概要（平成13年度）

	第一種（無利子）	きぼう21プラン（有利子）
対 象	学部又は大学院に在学する学生で「人物・健康・学力・家計」の基準を満たす者	学部又は大学院博士（前期・後期）課程及び博士課程に在学する学生で「人物・健康・学力・家計」の基準を満たす者
貸与月額	学 部 自 宅 42,000円 自宅外 48,000円 大学院 博士(前) 85,000円 博士(後) 119,000円 博 士 119,000円	学 部 3万円・5万円・8万円・10万円のうちから希望により選択 大学院 博士(前・後) 5万円・8万円・10万円・13万円のうち課程及びから希望により選択 博士課程 * 貸与月額の変更可
貸与期間	貸与開始の月から標準修業年限が終了する月まで	申込月から標準修業年限が終了する月まで（原則）
受付期間	春（日本育英会の通知に基づき学内の所定の掲示板で案内する）	主に春（応募状況により随時）（日本育英会の通知に基づき学内の所定の掲示板で案内する）
申込書の請求・提出先	厚生課，教養部厚生掛	

平成13年度 日本育英会奨学生採用状況

平成14年1月1日現在

区 分		予約・採用		推 薦 内 示 数		採 用 者 数														
		第 一 種	希 望 21	第 一 種	希 望 21	併用貸与			第一種		第一種 不採用時 希望21プラン			希 望 21プラン		合 計				
						応 募	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用	採 用
学部学生	予約採用	5	6	-	-													-	5	6
	一次募集	-	-	12	35	3	3	3	21	5	28	4	18	14	13	66	12	34		
	二次募集	-	-	-	-									2	2	2	0	2		
	応急採用	-	-	-	-									1	1	1	0	1		
大学院生	予約採用	45	0	-	-													-	45	0
	一次募集	-	-	24	17	0	0	0	46	12	32	11	16	1	1	79	23	17		
	追加調整	-	-	26	-				-	25						-	25	-		
	二次募集	-	-	-	1									1	1	1	0	1		

大学院生の追加調整は、一次募集の応募者から適格者を選定し推薦した。

学生生活を終えるにあたって

医 学 科



「十年一昔」という言葉があるが、時代の流れが速い昨今、もう「六年一昔」位ではないか、と思う。携帯電話とパソコンの普及率もこの6年だった。いつか来る解剖実習にドキドキしていた入学当初。今では病棟で患者さんの死を看取った事もある。

感謝の言葉は語り尽くせない。患者さんに、先生に、友に、そして東京医科歯科大学に。

私達はこの6年で何を心得、どう変わったのだろうか。そして6年後、私達はどのように変わっているだろうか。

医学科6年 わか ばやし けん じ
若 林 健 二

歯 学 科

夜の9時、家に帰る電車の中。窓の外を眺める。外には暗い空が広がっている。思えば大学に入った6年前は、突然暗闇の中に放り出されたような気分だった。

6年間の学生生活を振り返る。講義中はヒュプノスに抗うことを放棄し、試験は席が決まるや否や祈りを奉げた。

こうして暗闇の中に「知識」と「経験」という灯火を点けていった。明るくなって見える部分が広がっていくほど、回りの暗闇の大きさを強く感じるようになった。これからも果てしない暗闇に向かって、灯火を点け続けるのだろうか。

歯学科6年 まつ ばら たつ お
松 原 龍 生

学生生活を終えるにあたって

看護学専攻

生まれて初めて自分の目で見た合格発表。あの日から早4年。思い起こせば、「充実した4年間だった」の一言に尽きる大学生活でした。幾つもの川を渡り、2時間かけて通った教養時代。急に大都会へ戻り、朝のラッシュに疲れ果てた2年生。目の前の課題をこなすことで精一杯だった3年生。人のあたたかさが身にしみた4年生。そして、勉強で忙しい中、部活動にも参加し、看護婦として必要な知力・体力・精神力を磨き上げてきました。大学4年間で学んだことは、言葉では表現しきれないほど沢山あります。この4年間での学びを胸に抱いて、新しい世界へと旅立っていこうと思います。最後に、未熟な私をここまで育ててくださった皆さんに心から感謝します。どうもありがとうございました。

保健衛生学科看護学専攻4年 小林恭子



検査技術学専攻

「検査って何やるの？」大学入学時は私も含めて、クラスの身近な友達は上手く説明できない人が多かった気がします。あれから4年。やっと検査技師の仕事がわかってきた時にはもう卒業。数多くの実習とレポートに追われた2,3年生の日々、卒業研究も今となっては思い出話となりました。決して大き過ぎない夢をかなえようとするこも、現実的には厳しい私達。卒業式は一つの儀式だと思って、それぞれに続行中。たんたんと行きます。希望を相棒に...



保健衛生学科検査技術専攻4年 木下郁美

学生生活を終えるにあたって

歯科衛生士学校

この学校生活は本当にハードでした。幼稚園での指導実習に使用する小道具などを夜まで残って作ったり、卒論やレポートに追われ、ほとんど寝てないような状態で臨床実習をこなすこともしばしばでした。その一方で、校外実習を成功させた時の喜びや大変だからこそ友達との団結力が強くなったりもしました。辛いことも楽しいことも色々あったけれど、卒業を目前に控えた今では全て「よき思い出」です。



歯科衛生士学校 2年 さい とう ますみ
齊 藤 麻須美

歯科技工士学校

本当に何もかもがラッキーだったと思います。まずクラスメイトに恵まれました。実習中に歌声が聞えてきたり、笑いの絶えないとても元気で明るく楽しいクラスでした。お茶祭の準備などで夜遅くまで残ったり実習で分からないことがあるとお互い教えあったり、飲み会で大いに盛りあがったりと技工士学校は朝早くから夜遅くまでなにかと大変ですがそんな中でこのクラスメイトに助けられたことも大きいと思います。皆ありがとうね。それから優しい先輩や尊敬できる先生方に出会えたことも幸運でした。またお茶祭を通じて学部の方々との交流を持てたこともとても楽しい思い出となっております。もうすぐ卒業ですがこの学校のことはいくら先10年20年経ってもきっと思い出すと思います。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。



技工士学校 本科 2年 ふ かわ こう いち
富 川 紘 一

京都旅行に参加して

(平成13年11月21日(水)~22日(木)京都市内)

大学院医学系研究科(難研・疫学科)
4年 ユ HTAY LWIN

私は、平成13年11月21日~22日、京都への留学生施設見学旅行に参加させていただきました。この旅行の目的は留学生が日本の歴史的、伝統的文化遺産を見学し、理解し、また旅行を通じて留学生同士と大学関係者との交流を深めることにあると知り大変良い計画だと思いました。

11月21日(水)は、朝からとても良い天気でした。参加者は、大学に集合し、8:40に大学を出発し、新幹線で京都に向かいました。京都には11:59に到着し、すでに待っていた観光バスに乗りました。バスには通訳のガイドさんが2人も付いていました。1人は英語通訳者で、もう1人は日本語通訳者でした。今まで何度か旅行をしましたが、ガイドさん2人という旅行は今回が初めてでとても良く理解できました。

私達はまず最初に清水寺に行き、日本の古代文化、思想、信仰にふれることができました。例えば、3つの水(長生きするよう、美人になるよう、優秀な人になるよう)があって、その中から自分の気に入った1つを選んで飲めば、願いが叶うと聞かされました。ミャンマーにも似た風習があります。

続いて、平安神宮へ行きました。そこでは日本の古代伝統文化技術品が中国の伝統文化とつながりがあることを知りました。次に、金閣寺(Golden temple)へ行きました。寺全体が金で飾られた豪華なお寺と、庭園の池に映る見事な紅葉が見られ、たくさんの写真を撮りました。雪景色の金閣寺もきっとすばらしいのではないかと想像したりもしました。

夕方、宿泊先である、ルビノ京都堀川へチェックインし、6:30から懇親会が始まると、カラオケで楽しむ人、記念写真をとる人、おしゃべりをする人でにぎやかになり、それぞれ皆、親しくなり、楽しいひとときを過ごしました。

翌日は、ホテルで朝食を済ませて8:30にチェックアウトして、サントリー桂ビール工場を見学し、おいしいビールを試飲しながら休憩ができたのでほっとした気分になりました。

2日間の京都見学は私にとって貴重な体験ができ大変有意義であり、思い出深い旅行となりました。目的である、留学生同士の間と大学関係者の中で親睦を深めることができ、その上日本文化の理解も増えたことはたしかに感じました。

最後にこの見学旅行計画を立ててくださった大学の職員の方々、一緒に参加しお世話をしてくださった先生、職員の方々、留学生の皆さんにこの場を借りてお礼を申し上げます。来年もこの見学旅行が成功することを願っています……。



留学生センターだより

書き初め

留学生センターでは、日本語予備教育（第3期）研修生が熱心に日本語学習に取り組んでいますが、日本文化の学習の一環として、正月気分の残る平成14年1月10日（木）、「書き初め」を行いました。

まずはお手本通りに「お正月」の3文字を漢字で、次に自分のそれぞれの専門の「医」又は「歯」を大きく半紙一杯に書きました。中には日本人顔負けの筆運びの留学生もいます。最後に自分の国の言葉で新春の挨拶を書きました。どこの国かわかりますか。ちなみに、留学生の国籍は、タイ、インドネシア、ラオス、ミャンマー、スリランカ、フィリピン、イエメン、象牙海岸、そしてブラジルです。

裏表紙の写真をご覧ください。



「化学実験を通じた異文化間交流」

クラス教養部で始まる

教養部岡崎三代教授（化学）と留学生センター教授山下早代子、都河明子の担当で、「化学実験を通じた異文化間交流」という耳慣れないクラスが始まりました。国際的に通用する医療人を養成するという大きな目標のために、まずは留学生と日本人学生と一緒に化学実験を行い、実験を通して英語による手順などを学び、将来外国の研究者と一緒に積極的に研究できるような基礎訓練を行います。

大学院で研究する留学生をゲストにより、話を聞くというような機会も設け、コース修了時には英語でレポートを書くことを目指します。



サークル活動等紹介

Tokyo Medical & Dental Piano Club (ピアノの会)

第4回 クリスマスコンサート

昨年(平成13年)12月22日土曜日、医学部附属病院1階ロビーにおいて第4回クリスマスコンサートを開催致しました。普段まっすぐに整列したロビーの椅子を半円形に並べ替え、中心にはいつも壁際で自動演奏しているアップライトピアノを据えました。ピアノの横には大きな花束を華やかに飾りました。正面玄関の傍らには病院の用意してくださった巨大なクリスマスツリーがきらきらと輝いています。清潔で事務的で、しかし変哲のない病院の窓口は、コンサート前日の夜、華やかなクリスマスの雰囲気あふれるピアノコンサート会場へと生まれ変わりました。

コンサートは午後2時から始まりました。プログラムは部員20名と学内・学外(東京音楽大学・東京外国語大学)の賛助出演数名による計21組が、ピアノ独奏に加えてヴァイオリン・フルート・声楽など多彩な内容でクリスマス曲を中心に親しみやすいものを厳選しました。そして今年は、以前入院していらした患者さん二組にゲスト出演していただきました。現在入院中の患者さんへのメッセージと美しい曲、病を乗り越えて元の仕事に復帰していらっしゃるお姿と心の琴線に触れる演奏に励まされた患者さんも多くいらっしゃいます。

コンサートにはアクシデントがつきものです。毎年のように、プログラムの部数が足りなかったり、音響の調整がうまくいかなかったりとか何か起こります。今年のアクシデントは、重要な出演者の一人、サンタクロース役の部員がインフルエンザで高熱を出して当日突然欠席してしまう、というものでした。しかし、ステージマネージャーは的確に指示を出し、そして突然代わりのサンタクロースに指名された二人は、

まるで生まれてこのかたサンタクロースであったかのように笑顔とプレゼントを振りまき、子供たちに囲まれてニコニコと話をしていました。却って災いを福に転じてしまったようでした。

今年は第3回の前回よりも更に100人多く、延べ400人のかたにお越しいただき、午後4時半、きよしこのよるを全員で合唱して盛況のうちに幕を閉じました。

クリスマスコンサートの企画は、なかなか外出もままならず、病院でクリスマスを過ごされる入院患者のみなさまに楽しいクリスマスをお贈りしたい、との思いで始まりました。ピアノの会は部員数50名を超える大所帯ですが、ピアノという楽器の特性上個人活動になりがちで、部員の多くが集まる機会は年間を通じてそう多くはありません。しかし、クリスマスコンサートは患者さんに心から楽しんでいただけるコンサートであると同時に、学生である私たちが音楽を通して患者さんと接することのできる貴重な機会である、という認識のせいでしょうか、演奏をしない部員も含めてポスター・プログラム制作、アナウンス、受付、会場設営などに多くの部員が関わり、ピアノの会が一致団結して事にあたっています。

第4回ともなるとこの企画も病院の恒例行事のようになってまいりました。ポスターでお知らせする以前に、患者さんからお問合わせをいただくこともあります。入院なさっている方が楽しみにしてくださるだけでもうれしいのに、外からわざわざ聴きにきてくださる方もおられます。自分たちの行っている催しが喜ばれ、根付いていると感じて本当に涙が出るほど嬉しくなります。

クリスマスコンサートも来年は第5回と節目の年を迎えます。これまでの反省を活かしつつ、より一層みなさまに楽しんでいただけるクリスマスコンサートを目指していきたいと思っています。

最後になりましたが、このクリスマスコン

サートの企画にご理解・ご協力いただいた大学・病院関係者の方々にこの場を借りて御礼を申し上げます。年末のお忙しい中、なにかとご援助いただきましてありがとうございました。宣伝活動から会場設営・患者さんの誘導などさまざまな面で支えていただきました。特に、ピアノの会顧問かつ病院長の西岡先生、学生課・

総務課・和同会・看護部・医事課の方々にはコンサート全体を通じてお世話になりました。コンサートが盛況に開かれ、無事終了いたしましたのは皆様のおかげでございます。本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

(医学科5年 せきなかともこ 関中智子)

2002年6月9日(日)13:30より、
新宿区四谷区民ホール(丸の内線 新宿御苑前駅下車すぐ)にて
東京医科歯科大学ピアノの会主催「医学講座とピアノ演奏会」を開催致します。
皆様のお越しをお待ちしております。



サークル紹介

■ コーラス部 ■



コーラス部は現在男性6名、女性7名の総勢13名+αです。小さな合唱団ですが、いつも少数精鋭（のつもり）で歌っています。とてもアットホームな合唱団です。

活動としては、6月の大きな演奏会をはじめ、お茶祭、クリスマスコンサート、入学式、卒業式など、一年を通じて演奏の場があります。ちょっと歌いたいな、と思った人、飛び入り大歓迎です。コーラス初心者も、勿論歓迎です。この写真は

6月の演奏会のものです。あの頃入学したてだった一年生も今ではとってもパワフルになりました。これからますます楽しみな彼らです。コーラス部に繁栄あれ！

(M3 かとうようこ 加藤陽子)

■ S. S. I. A. (国際学生交流会) ■



SSIAは国際交流に興味をもつ人たちが集まっています。タイの大学を訪問したり、タイの学生を日本に歓迎したりする提携交流プログラム、アジア太平洋歯科学生会議（今年はオーストラリア）、お茶祭での模擬店や留学生の討論会などの活動をしています。サークルの雰囲気はとてもアットホームなのが自慢です。英語を話したい人、癒されたい人... SSIAの一員になりませんか？お待ちしております！ Come on join us!

(M3 なががわ じゅん 中川 潤)

【水泳部】

みなさんこんにちは。水泳と聞くと大抵の方は爽やかなイメージを抱かれるかと思いますが、実際とても爽やかです。特に夏場、まだまだ自然の残る国府台のプールでサンサンと照りつける太陽の下でのスイムは、「ああ、青春ってこういうことなんだなあ」と実感せざるを得ません。また、授業後モヤモヤした頭を練習で吹き飛ばし、さらにその後のビールといったら...ゲフンゲフン。水泳競技はとかく個人競技である面が強いためとすると自己満足な部活に陥ってしまいがちですが、僕たちはそうならないように縦横のつながりを大切にし、全員で練習に励んでいます。



(M3 なかむらともふみ
中村知史)

【剣道部】

剣道部の活動は火木土の週3回、その内木曜は学部練です。年間の活動は、春に4つ、夏に2つ、秋に2つの大会があり、その他他校との練習試合もあり、常に目標を持って稽古に臨んでいます。稽古のあとは食事会(たまに飲み会)などがあり、同学年のみならず、先輩後輩の仲が深まります。更に大会の前には朝練を行い、試合に対しての気持を高めます。これらの活動の成果が、昨年秋の大会では男女ともに団体3位という好成績を修める事が出来ました。この結果を励みに、また稽古していきたいと思えます。

ホームページ

<http://tokyo.cool.ne.jp/tmdkendo/>

(M1 やまもとぎんが
山本銀河)



健康診断を上手に 利用しましょう

保健管理センターでは非常に多種類の健康診断を実施しています。その中でも毎年春に行われる定期健康診断は、学生・職員すべてが受診しなければならない健康診断です。このほか職員のうち35歳及び40歳以上の人に行われる健診に、コレステロール、貧血、肝機能などが含まれる血液検査、心電図、胃レントゲン検査、検便などがあります。また特定業務に従事している者の検査として、放射線取扱者の特別健診、病原体に汚染されるおそれのある部署に勤務する者の健診、理学療法士、給食業務従事者、運転業務従事者、VDT業務従事者、深夜業務従事者などに対する健診など多くの健診があります。これらの健診はすべて、学校保健法や人事院規則10 - 4の規定に基づき行われるもので、実施することが義務になっています。しかしこれらは義務ではありませんが、同時に各自の健康状態を知り、健康を守るのにも役立つもので、疾患の早期発見、早期治療に利用することができます。健診をする度に業務に係わる者ばかりでなく、業務とは関係のない異常が見つかり、精密検査が必要になる方が大勢います。このほか共済組合が支援している人間ドック、一般の社会で

健康 コ ラ ム



このコーナーを担当
していただく
保健管理センター所長
なにかい きとし
合 哲 教授

は、母子保健法に基づく検診、地域保健法に基づく健康診査、老人保健法に基づいて行われる健康診査など、国民全体が何らかの健診を受けられ、健康保持ができるようになってきました。色々な健診の機会を上手に利用して、健康の保持・増進に心がけてください。

ところで最近医療の世界ではEBM (evidence based medicine)といわれて、医療行為を行うとき、科学的根拠に基づいて行うようになってきました。これらの健診には医療で求められるようなEBMがあるかということ、必ずしも確実な根拠があるとはいえないものもあるようです。健康管理のために行われる健診は非常に多数の人を対象に、長期間かけて根拠を作らなければならないので、容易にはできないと思われま。また健診にかかる経費、被検者に与える苦痛なども検討しなければならないでしょう。今後はEBMの観点で健康管理の行為にも検討が必要です。

私は本年3月に定年退職をいたしますので、私の編集・執筆はこの編で最後になります。平成7年に「健康コラム」編集のご依頼を頂いてから、7年経ち、この編で28回になりました。本学の教官は健康に関する研究・教育をしている方ばかりですので、時期に応じてテーマを決めて専門の先生に執筆をお願いし、私がテーマを選んだ趣旨を書き添えました。ご執筆を頂いた先生方、ご意見・激励を頂きました皆様には深く感謝いたします。

表. 保健管理センターで実施される健康診断

種 目	時 期	対 象	検 査 項 目
一般定期健診	教養部 4月 その他 5月	学生・職員全員	身体計測、検尿、血圧、胸部X線検査等
一般定健再検査	6月、7月	学生・職員該当者	血圧、尿検査
貧血・肝機能・血中脂質等	1月	職員のうち35歳、 40歳以上のもの	血算、GOT、GPT、γGTP、総コレステロール、中性脂肪、心電図、検便
心電図、検便	11月		
胃X線検査	10月	職員、40歳以上	胃・食道X線検査
新入生健康診断 健康調査	4月	新入学生	胸部聴打診 色覚検査
放射線業務従事者血液検査	6月、12月	学生、職員、該当者	血算、白血球分画 白内障検査 皮膚検査
同上 問診	3月、9月		
B型肝炎抗原・抗体検査	1月	医療職員一般 大学院生 専攻生	B型肝炎 抗原・抗体検査
同上	5月	医療関係新採用者・新入学生、 臨床実習前の学生	B型肝炎 抗原・抗体検査
病原体に感染のおそれがある部署のもの	3月、9月	該当部署職員	B型肝炎 抗原・抗体検査
深夜業務従事者健診	11月	該当者	検尿・血圧検査
給食・理学療法・運転業務	6月、12月	該当者	腰痛、皮膚検査、等
VDT業務	7月、12月	該当者	視力、遠近調節能等
ツベルクリン反応検査	5月、6月	医療関係新規採用者 臨床実習前学生	ツベルクリン反応検査
新規採用者健診	隔日予約	新規採用職員	問診、胸部X線検査、検尿、血圧検査等

行事案内

(集会名等：日時/講師
名(所属)/演題等/場
所/連絡先)

平成13年度卒業式 日程 平成14年度入学式

卒業式

3月8日(金) 14:00~ 於 5号館4階講堂

歯学部附属歯科衛生士学校
歯学部附属歯科技工士学校

3月25日(月) 10:00~ 於 5号館4階講堂

医学部
歯学部

学位記授与式

3月22日(金) 15:00~ 於 5号館4階講堂

大学院医学系研究科
大学院歯学研究科
大学院保健衛生学研究科

入学式

4月8日(月) 10:00~ 於 5号館4階講堂

医学部
歯学部

4月9日(火) 10:00~ 於 5号館4階講堂

歯学部附属歯科衛生士学校
歯学部附属歯科技工士学校

4月9日(火) 13:00~ 於 5号館4階講堂

大学院医歯学総合研究科
大学院保健衛生学研究科

行事案内・掲示板 原稿募集

原稿や写真(表紙含む。主に本学を題材にしたもの。)を募集しています。

行事案内・掲示板の欄は職員、学生、皆さんのページです。研究会、講演会、セミナー、特別講義、サークルの行事などの開催案内、その他にご利用下さい。

なお、本欄掲載事項に関する照会等への対応は、利用者の責任において行って下さい。

行事案内は、集会名等：日時/講師(所属)/演題等/場所/連絡先(所属・氏名・電話内線番号等)の要領で、その他の掲示板は原則として100字程度でお願いします。

原稿は広報委員あるいは総務課(1号館2階 内線4530, Eメール hiroba@tmd.ac.jp (Information, Topicsを明記))までお願いします。

広報委員会委員

一條秀憲(歯学部)
大谷啓一(歯学部：委員長)
渡橋正博(事務局長)
北嶋繁孝(難治疾患研究所)
畔柳和代(教養部)
三浦修(医学部)
宮本真巳(医学部)
山下仁大(生体材料工学研究所)
事務担当 総務部総務課

医歯大ひろば No.86

編集 東京医科歯科大学広報委員会
発行 東京医科歯科大学総務部総務課
〒113 8510
東京都文京区湯島1 5 45
Tel 03(5803)4530
Fax 03(5803)0273

本学ホームページアドレス <http://www.tmd.ac.jp>



本紙は再生紙を使用しています。

留学生による書き初め

平成14年1月10日 於：留学生センター
(関連記事 本文42ページ)



オーソックスに「お正月」



やっぱりTMDUは「医」と「歯」でしょう！



新聞紙をしきつめて練習



それぞれの国の言葉で新春の挨拶

新広報誌のタイトル募集!!

平成14年7月創刊予定の新広報誌のタイトルを募集します。
新広報誌のタイトル名は、総務部総務課（1号館2階）
Eメール hiroba@tmd.ac.jp までお願いします。

応募締切：4月19日（金）